

昼

ウグイスの鳴く声を聴いた
天涯孤独の身にしてみれば
四季は単なる時間でしかない

*

成り上がりの観光客たちが
かまびすしい言語を喚いている
その脇で揉み手をする我々種族

去勢され、追い詰められ
薬の服用でふらつく者たちが
「何もない」と縮こまる部屋

何にしがみついているのか
あらゆることが筒抜けで
丸裸にされるのを承知で

したり顔のメディアにかぶり付き
虚実とは無関係に追従して
意識下への潜水を許す

放り出されることを承知で
分断され
同時には使われぬ五感

見棄てられることの微笑
それとは逆に
がんじがらめの絆

*

ツバメが喋っている
静穏な時間の中で
秒針が刻まれる

(2013.5.8)